

# 名城大学機械会誌

発行所  
 名古屋市天白区塩釜口1丁目501番地  
 名城大学理工学部機械工学科内  
**名城大学機械会**  
 TEL (052) 832-1151 (代)  
 FAX (052) 832-1235  
 URL: <http://meijo-kikaikai.jp/>

## 名城大学機械会 第59回総会のご案内

下記のように第59回総会を開催します。  
 会員諸氏の多数のご出席を心よりお待ちしております。

名城大学機械会 会長 江上 登

- 日時** 平成28年6月12日（日）9：30～10：20  
**場所** 名城大学天白キャンパス 共通講義棟南館 S402教室  
**役割** 司会者、開会の辞、会長と学科長の挨拶  
 議長団選出（議長・副議長・書記・議事録署名者）  
 議事 ・27年度事業報告  
           ・27年度会計報告及び監査報告  
           ・28年度事業計画案  
           ・28年度予算案  
 ★機械会サマーフェスティバル企画説明  
 ★機械会新ホームページの案内  
 ★新役員及び新評議員紹介  
 ☆理工同窓会 記念講演・・・10：30～11：40 S201号室  
           講師・・・名城大学経営本部長・常任理事 武藤 正美 様  
           演題・・・学校法人名城大学経営本部長としての使命  
 ☆理工同窓会 総会・・・11：55～12：45 S201号室  
 ☆懇親会・・・13：00～14：30 タワー75 15Fレセプションホール



■機械会新ホームページトップページ

## ご 挨拶

名城大学 機械会 会長 江 上 登  
昭和41年卒



機械会会員の皆様におかれましては、益々お元気にご活躍のこととお慶び申し上げます。

昨年の6月に開催されました総会において沢柳会長の後を受けて、会長の大役を仰せつかりました江上でございます。私が会長にとのお話しは、まさに青天の霹靂でありましたが、沢柳前会長が、機械会活性化のために！とのことでお引き受けすることになりました。とはいえ、私に与えられた時間はあと1年です。この1年で機械会の活性化を図ることは大変なことでありますが、幸い、多くの若手の卒業生評議員が活躍してくれていますので、機械会活性化の実現も夢ではないと考えています。

さて、名城大学の同窓会組織の中でも最も歴史のあるのが機械会であります。同窓生も平成16年3月に卒業された皆さんをお迎えして、おおよそ12500名になります。

名城大学機械会の主な事業は、

1. 総会
2. 在校生への援助（ソフトボール大会、卒業記念パーティーなど）
3. 会誌発行
4. 交流会
5. ホームページ開設などです。

このうち、ホームページはリニューアルを行い、スマートフォンでの閲覧も可能にし、内容、質ともに充実して、機械工学科と卒業生、在校生の懸け橋になるようなものにしたいと考えております。是非アクセスしてみてください。

また、近い将来、機械会誌は紙ベースでの配信を希望者だけにして、基本的にはホームページで閲覧していただくことにより、大幅な経費削減が可能となります。

す。その分、在校生や卒業生へ何らかの形で還元させていただくことができると考えております。

また、例年、1月に開催していた新春交流会は、若手評議員を中心に実行委員会を立ち上げて、企画していただいた結果、7月16日（土）午後5時半から、「名城大学機械会 サマーフェスティバル」として内容も刷新して開催することになりました。どうか、機械会の夏祭りに、お気軽に参加していただき、卒業生のみなさんや、恩師のみなさんと交流を図っていただきたいと存じます。

また、名城大学チャリーデング部や応援団リーダー部にも来ていただいて演技をしていただくなど盛りだくさんの企画を用意しています。ご退職された先生にはできるだけご出席をお願いしたいと考えております。そのほか、名城大学学長、理工学部長、校友会会長、理工同窓会会長をはじめ、関係各位の出席も予定しております。是非参加していただき、同窓会を身近なものにしていただきたいと存じます。

名城大学におけるステークホルダーは、教員・職員・学生・保護者のほか、卒業生も重要な役割を果たしております。そういう意味においても、同窓会の活性化＝大学の活性化と密接に関係します。母校のますますの発展のためにも、同窓会組織が元気でなくてはならないのです。是非、多くのみなさんが同窓会の活動に参画いただきますようお願い申し上げます。

江上に、そして機械会に役員・評議員としてお力をお貸しいただける卒業生の皆さんがお見えになりましたら、小生なり、機械会なりにご一報ください。お待ちしております。

皆様の積極的なご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のますますのご活躍・ご発展とご健勝をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

## 第8回機械会杯ゴルフ大会開催のご案内

- |   |          |  |      |              |
|---|----------|--|------|--------------|
| 1 | 日 時      | 平成28年10月9日（日）  | 集合   | 7:40分        |
|   |          |  | スタート | 8:12分        |
| 2 | 場 所      | デイリー瑞浪カントリー倶楽部   |      |              |
| 3 | 住 所      | 瑞浪市釜戸町1068番地   | TEL  | 057-263-1001 |
| 4 | 会 費      | プレー代 15,000円前後（個人精算）   |      |              |
|   |          | （昼食&コース売店各1ドリンク・パーティ&1ドリンク含む）  |      |              |
|   |          | 参加費 1,000円（パーティ会場で徴収します）   |      |              |
| 5 | 参加人数     | 6組（24名）  |      |              |
|   | 【問い合わせ先】 | Tel 090-5115-6472 Fax 0568-81-8639 【機械会：森澤 厚（S45）】                                       |      |              |
|   |          | E-mail <morisawa@ukai-s.co.jp>   |      |              |
|   |          | 詳しくはホームページをご覧ください。URL: <a href="http://meijo-kikaikai.jp/">http://meijo-kikaikai.jp/</a> |      |              |

## 機械工学科の近況報告

機械工学科

学科長 来海 博央



平成28年度の学科長を務めさせていただきます来海です。

4月14日以降、熊本県、大分県を中心に発生しています一連の地震により、お亡くなりになられた方々に謹んでお悔やみを申し上げますとともに、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。そして被災者ならびに被災地の救済と復興のためにご尽力されている多くの方々に深く敬意を表すとともに、現地より早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて平素は機械工学科の様々な活動にご協力、ご援助いただき誠にありがとうございます。本年3月に149名の学生が卒業し、新たな機械会会員となりました。簡単ではありますが機械工学科の現況について報告させていただきます。

現在、大学が置かれている状況は急激かつ劇的に変わりつつあることは、昨年ご報告した通りです。特に、日本経済の「失われた20年」から脱却しようとする経済政策により、改革の流れが日本の主要大学だけでなく、地方大学、私立大学へと押し寄せてきています。世界を基軸にしたグローバル化が進められ、この新時代に世界標準で活躍できる人材の養成が大学には求められています。基本的な知識、技術、実践力はもとより、創造性、倫理、感性、リーダーシップといった部分で卒業していく学生に付加価値を付け、いかに人材として送り出せるかが重要課題であり、本学科でも人材養成目的を中心に改革を進めています。

本学科は、2013年4月に機械システム工学科から機械工学科へ名称変更し、2016年3月が機械システム工学科最後の卒業式となりました。本年4月からは完全に機械工学科となり、長年お世話になりました大道先生、楊先生、福田敏男先生が完全にメカトロニクス工学科の所属となり、18あった研究室が15研究室となりました。従来の6分野から4分野に改編され、「熱・流体」、「材料・強度」、「設計・生産」、「運動力学・制御」の新しい体制で教育、研究に取り組んでいます。本学科のカリキュラムは、各分野の基礎から応用へと段階的に深化させる学科科目と、本学機械工学科伝統の設計・実習・実験などの体験・実感する実習科目を多く配置し、机上の学問を有機的に結び付け、イメージしたものを形にする実践力や創造力、考え抜く力（知的体力）を育む教育を行っています。これらの特徴は近隣大学の機械系学科にはない特徴であり、本学科の伝統的な強みであります。また倫理教育についても取り組み、機械工学的センスを有する社会に貢献できる機械技術者の育成に取り組んでいます。以上の取り組みや教育の質に関する外部評価として、昨年11月に日本技術者教育認定機構（JABEE）による審査を受けました。いくつか指摘はあったものの、2015年～2021年までの6年もの認定期間が、中間審査なし認められ、現教育システ

ムが第三者的に認められた形となりました。

これら以外にも、本年2月、共同利用機械工場（旧実習工場）にマシニングセンター（ファナック ロボドリル：写真）を新規に導入しました。この装置は本学科の予算で導入し、数年後の講義から使用する予定です。現在、工場は理工学部の施設であります。ここ20年間、新たな設備投資はされておらず、本装置の導入は新工場への第一歩として学科で議論した結果であります。さらに、機械工学実験の設備更新についても検討をするなど、今までにはなく教育・研究環境の改善に取り組んでいます。またその取り組みはハードだけではありません。大学では、2016年からの基本戦略であるMS-26（Meijo Strategy-2026）のもと、様々な取り組みが実施され、その一つに教育改善があります。今年度、本学科からは2つの4年間の教育改善のプロジェクトが採択されています。さらに、教育現場は海外にも移っています。本学科ではアブラハ先生にご尽力いただき、国際専門研修プログラムとして本年2月末から1週間程度の「機械にけるグローバル設計交流研修」を実施しました。学生5名が参加し、カルフォルニア大学デービス校での機械設計の授業への参加、施設見学、現地学生との交流、歴史地を巡る研修等が実施され、学問だけでなく異文化に触れる研修が行われました。

以上のように、本学科でも近年の改革の早い流れに取り残されぬように最大限努力していますが、不十分なことも多く、今後ともご協力いただき、ともに発展できればと考えています。最後になりますが、正門の坂の桜並木の脇にある校友会館の後ろで建設中の新校友会館が完成間近となっています。機能移転後、旧校友会館は解体され、広場になるそうです。昨年には共通講義棟東が完成するなどキャンパスのリニューアルが急ピッチで進められています。この機会にぜひ、名城大学に足をお運びいただき、変わりゆく大学を肌で感じていただければと存じます。



図 機械工学科が導入したマシニングセンター

## 2015年度就職状況

機械工学科 就職・進路支援委員 福田 康明



### 求人・採用状況

最近の経済状況の好転により、バブル期の再来とも言われており、本学科における求人件数は昨年度と比較して約10%の増加となり、12,300件の求人件数となった。これは就職希望者（学部・院生を含め約140名）での一人当たりの求人数でみれば約88社となり、機械技術者のニーズが高いことと、本学卒業生の社会的評価の高さが伺えます。

採用活動では経団連の採用活動指針により、企業説明会は3年生の12月から3月に、面接などの選考は4年生の4月から8月にそれぞれ解禁時期が変更された。しかし、現実には中堅・中小企業や外資系企業の多くは例年に採用時期と大きな変更が見られず、4月以降から選考が開始され、また大企業においてもマッチング面談、ジョブマッチング面談等が実施されており、経団連の採用活動指針が形骸化している。しかし最終面接や確認面接等は8月1日以降に実施する企業が多くみられる。企業の採用選考においては、多くの企業が「入社への意欲や熱意」、「コミュニケーション能力」、「自己分析・自己PR」が評価ポイントとなっており、特に「入社への意欲や熱意」に関しては、「何がしたい」ではなく、「何故したいのか」「何が出来るか」が重要となっている。その為には「知的能力」「応用力」「創造力」及び「問題解決能力」の素養を修得することが必要となる。

### 就職支援の取り組み

1年生では機械工学概論の最終日にキャリアセンターの協力のもと、「職業適性テスト」を実施している。また3年生後期には「キャリアの学校」と称して、外部から講師をお招きして「コミュニケーション力向上プログラム」や「自己PR」についての講演を依頼している。その他キャリアセンターでは、ガイダンス（4回）の実施、就職試験講座、自己PR講座、面接模擬講座、学内企業セミナー（教室方式、ブース方式等）等、多数の行事を開催している。

学科内での取り組みでは、3年生と大学院1年生では12月に就職ガイダンスを実施している。企業からの就職面談への対応は就職委員が担当しており、各教員には研究室に配属された学生への就職指導を行う協力体制を取っている。

### 就職・大学院進学

企業への推薦応募の割合は、学部生では約20%、大学院生では70%となっているが、これは大学院生では学部生

より学生生活が2年長く、自分の将来像と職業選択、希望先企業の業績や社風および仕事の内容等の企業研究が進んでいるものと思われる。しかし採用状況では、推薦希望者の採用率が必ず高いとは言えず、人物本位の評価になってきている。

本年度の学部卒業予定者は149名（内大学院進者32名）、大学院修士課程修了予定者は35名であったが、就職・大学院進学希望者は全員内定（内定率100%）することができた。

大学院進学については、近年、各企業が高度な専門知識や技術を有する大学院修了者の確保が必要とされており、最近の有力国立大学での大学院進学率は80～90%と高い進学率となっている。しかし本学科での大学院進学者は32名（21.5%）となっており、今後では大学院進学者への増加が望まれる。

以下、就職先主要企業名を掲載しますが、機械会の皆様には今後共ご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### [大学院]

アイシン・エーアイ、アイシン・エイ・ダブリュ、アイシン精機、エンケン、オークマ、KYB、三五、JR東海、ジェイテクト、大同特殊鋼、東芝、東芝テック、東芝エレベータ、東海理化、トヨタ自動車、トヨタ紡織、豊田自動織機、豊田合成、ノリタケカンパニーリミテッド、マキタ、松尾製作所、八千代工業、ヤマザキマザック

### [学部]

アイカ工業、愛三工業、アイシン精機、アイシン・エイ・ダブリュ、アイコクアアルファ、アイシン機工、愛知機械工業、アンデン、アイコクアルファ、アドヴィックス、旭サナック、FTS、オークマ、北川工業、小島プレス工業、CKD、新明工業、新東工業、新日鉄住金、JR東海、ジェイテクト、スズキ、太洋工業、大豊工業、中部プラントサービス、中央可鍛工業、津田工業、豊田合成、トヨタ紡織、豊田鉄工、トンボ鉛筆、日本高圧電気、日東工業、ニッセイ、フタバ産業、富士機工、富士精工、富士車両、フジキカイ、本田技研工業、マキタ、松尾製作所、マルヤス工業、三菱重工、三菱エンジニアリング、ミネベア、武蔵精密工業、村田機械、矢崎総業、ヤマザキマザック、リンナイ  
大学院進学者32名

## OB近況報告

名古屋工業大学 非常勤講師  
石田 正治  
昭和47年卒



### 1. はじめに

私は、大学卒業後、縁があって県立高校工業科の教師（実習助手）になりましたが、これは1年で退職して、2年間ドイツに留学しました。研究目的があまりないままに渡欧したので、留学と言うよりも遊学に近いものでした。

1975年3月に帰国しました。留学前の実習助手の経験から、ものづくりよりも人づくりの仕事もおもしろい、やりがいのある仕事であると考えていましたので、その年の愛知県の採用試験を受けて、合格し、1976年4月に工業高校の教師（教諭）になりました。

2年前に、再任用の65歳の定年を迎え、現在は、3つの大学の非常勤講師をしています。担当している科目は、名古屋工業大学では「職業指導」、大同大学では「工業科教育法」です。いずれも高校の教員免許取得のための科目です。

もうひとつは、名古屋芸術大学での「技術史」です。現代の技術を教えるのは、我々工業科教員の使命なのですが、技術の歴史を学ぶことも技術者の素養として大切であると思いついて、新米教員の頃から勉強してきたことでした。

私は、名城大学においても1991年～1996年まで、6年間で、「科学技術史」の講義を非常勤で担当していました。機械工学科と電気工学科の科目でありましたから、機械会会員の中には、この講義を受けられた方もおられると思います。

### 2. 自著紹介

教員生活最後の年の2014年10月に、秀和システムより『現場で役立つ旋盤加工の基本と実技』という本を上梓しました。当初の企画では、工業高校、高等専門学校、大学等の機械実習のテキストとして出そうと考えていたのですが、出版社より書名の通り、本職の旋盤工にも読んでもらえる内容にしてほしいとのことで、内容を練り直し、類書にはないことを書き込むことにしました。

機械の仕組みや操作方法、切削の理論と切削工具に

関する知識、測定器の取り扱い方などは、当然の事柄なのですが、それだけの知識では、実際のものづくりはできません。それは「段取り」です。

図面を見て、どのように加工手順を組み立てるのか、ということです。加工手順を考え、各工程毎に、必要な工具を準備し、適切な切削条件を決めることが、旋盤加工における「段取り」なのです。

同様の内容で、昨年暮れに姉妹編となる『現場で役立つフライス盤の基本と実技』を秀和システムより出版しました。フライス盤加工も「段取り」が全てです。機械会会員の皆様にも、ご講読いただき、ご感想などいただけたら幸いに思います。

近況ご報告まで。



『現場で役立つフライス盤の基本と実技』



『現場で役立つ旋盤加工の基本と実技』

## 第9回名城大学機械会「機械会賞」授与式



### 受賞のことば

この度は、機械会賞という栄誉ある賞を頂き、大変光栄に感じております。このような賞を頂きましたのも、御指導して頂いた先生方、研究のサポートをして頂いた研究室の先輩方、切磋琢磨し合った友人、支えてくれた家族のおかげです。この場をお借りして皆様に心から御礼を申し上げます。今後は、大学生活で培った仲間と協力し学ぶ姿勢を活かし、また研究を通して学んだ問題解決力や計画管理力に磨きをかけ、社会人として精進していきたいと思っております。最後に、名城大学機械会の今後の益々のご発展を願いまして受賞の挨拶とさせていただきます。



安達早耶奈

この度は、機械会賞を頂き、大変光栄に感じております。このような栄誉ある賞を頂きましたことは、熱心に御指導して頂いた福田敏男先生をはじめ、日々の研究生活において支えてくださった仲間、先輩方のお蔭です。この場をお借りして、皆様に心からお礼申し上げます。今後は、今回頂きました賞に恥じることなく、大学院ではより一層勉学や研究に取り組み、精一杯努力していく所存でございます。今後とも御指導、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



岩本 佑太

この度は、機械会賞という大変名誉な賞を賜りましたことを深く御礼申し上げます。今回このような素晴らしい賞を受賞できたのは、丁寧に指導して下さいました松田淳先生をはじめ、機械システム工学の先生方、並びに研究室の先輩方、友人、そして家族のご支援の賜物と存じます。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。これを機により一層大学院での勉強、研究活動に精進する所存でございます。今後とも、皆様方の尚一層のご指導とご鞭撻をお願い申し上げます、御礼のご挨拶とさせていただきます。



岡田 賢二

この度は機械会賞を授与して頂き、大変嬉しく、光栄であります。このような賞を頂きましたのも親切にご指導して下さった来海先生はじめ、固体システム分野の田中先生、清水先生、藤山先生や先輩方、友人のおかげであります。この場をお借りして心からお礼申し上げます。今後はこの賞に満足することなく、社会人として、そして名城大学の卒業生として、感謝の心を忘れずに、ひたすらひたむきに努力し精進してまいります。最後に、名城大学機械会の今後の発展を願いまして受賞の挨拶とさせていただきます。



高木 弾

この度は、機械会賞を受賞できたこと、大変光栄に思います。このような賞を頂いたのも、研究に関してご指導いただいた大槻先生をはじめとする先生方、また研究室の先輩や仲間の支えによるものであると感じています。これ以後は機械会の一員であることに責任を持ち、社会に貢献できるような技術者になれるよう努めていきたいと思っております。最後に、名城大学機械会の発展を願いまして受賞の挨拶とさせていただきます。



林 侑次

この度、機械会賞という栄誉ある賞を頂くことができ、大変光栄に思います。このような賞を頂くことができたのも、親切にご指導して頂いた久保貴先生をはじめ、機械システム工学科の先生方、また、大学の友人の支えのおかげです。この場を借りて皆様に心より感謝申し上げます。この賞に恥じる事のない社会人となり、活躍できる技術者になれるよう努力していきます。最後に、名城大学機械会の今後の発展を願いまして受賞の挨拶とさせていただきます。



村瀬 好美

### 理工学研究科機械システム工学専攻がベストプレゼンテーション賞を受賞

受賞者 木曾原知明さん（大学院理工学研究科機械システム工学専攻修士課程1年 清水憲一准教授研究室）

受賞名 日本材料学会 第1回WEEK若手学生研究発表会  
ベストプレゼンテーション賞

受賞日、開催地

H27.10.14, 京都テルサ（京都府）

研究発表テーマ

純チタン膜材の疲労き裂進展挙動に及ぼす圧延異方性の影響 - EBSD法による結晶方位測定に基づいて -



### 理工学研究科機械システム工学専攻が優秀講演賞を受賞

受賞者 小林大純さん（理工学研究科機械システム工学専攻1年、田中啓介教授・来海博央教授研究室）

受賞名 日本材料学会東海支部 50周年記念行事・第10回学術講演会 優秀講演賞（学術分野）

受賞日、開催地

H27.3.9, 岐阜大学サテライトキャンパス

研究発表テーマ

電着法により創製したNiナノ結晶バルク材の疲労特性評価



### 理工学部機械システム工学科が最優秀発表賞を受賞

受賞者 安達早耶奈さん（理工学部機械システム工学科4年、福田康明教授研究室）

受賞名 平成27年度日本設備管理学会東海支部学生研究発表会最優秀発表賞

受賞日、開催地

H28.2.26, 名古屋工業大学

研究発表テーマ

セル生産における作業習熟の評価



### 理工学研究科機械システム工学専攻が優秀講演賞を受賞

受賞者 長谷光司さん（理工学研究科機械システム工学専攻1年、田中啓介教授・来海博央教授研究室）

受賞名 日本材料学会東海支部 50周年記念行事・第10回学術講演会 優秀講演賞（学術分野）

受賞日、開催地

H27.3.9, 岐阜大学サテライトキャンパス

研究発表テーマ

ニッケルナノ結晶薄膜の疲労強度に及ぼす微小欠陥の影響



### 理工学研究科機械システム工学専攻が研究発表奨励賞を受賞

受賞者 後藤 宗さん（理工学研究科機械システム工学専攻1年、来海博央教授研究室）

受賞名 日本熱処理技術協会 第6回中部支部講演会 研究発表奨励賞（学術研究分野）

受賞日、開催地

H27.3.4, 名城大学MSAT

研究発表テーマ

FPB処理により形成されたアルミニウム合金の微視組織評価



### 理工学部機械システム工学科がBest Presentation Awardを受賞

受賞者 岡田賢二さん（理工学部機械システム工学科4年、松田淳准教授研究室）

受賞名 日本機械学会 東海学生会第47回学生員卒業研究発表講演会 Best Presentation Award

受賞日、開催地

H28.3.16, 愛知工業大学八草キャンパス

研究発表テーマ

スペクトル・マッチング法による温度測定に向けたデータベース構築のための窒素分子イオン第一負帯発光スペクトル計算



### 理工学部機械システム工学科が優秀講演賞を受賞

受賞者 岩田泰寛さん（理工学部機械システム工学科4年、藤山一成教授研究室）

受賞名 日本材料学会東海支部  
第10回学術講演会優秀講演賞

受賞日、開催地

H28.3.9, 岐阜大学サテライトキャンパス

研究発表テーマ

SUS304HTB鋼のFEMクリープひずみ解析による寿命評価



### 理工学部共同利用機械工場の梅本良作先生（機械工学科50年卒）が博士（芸術工学）の学位記授与

授与者 梅本良作（理工学部共同利用機械工場）

学位 博士（芸術工学）九州大学（課程博士）

論文題目

戦後日本における工作機械のイノベーションとデザインに関する産業技術史研究  
- マシニングセンタの設立と展開を通して -

学位記授与日 H27. 12. 31



## 平成27年度事業報告（案）

平成27年度の事業経過は以下の通りです。

1. 名城大学機械会誌第49号を発行し、会員各位に送付した。
  2. 名城大学機械会第58回総会を次の通り開催した。
    - ・日時：平成27年6月14日（日） 9:30～10:20
    - ・場所：名城大学共通講義棟南館S-402講義室
- \* 審議・報告事項 \*
- (1) 澤柳会長挨拶の後、平成25年度事業報告および会計報告がなされ、承認された。
  - (2) 平成27年度事業計画（案）および予算（案）について審議し、承認された。
3. JABEEに伴う外部評価委員会の活動への参画

■27年度の「新春交流会」は、その名称や開催時期および行事内容を抜本的に見直し今後検討することとして、平成28年1月開催予定の「新春交流会」は中止した。

4. 次の学生行事に対し援助を行った。
  - (1) 名城大学機械会杯（第46回）& 機械工学科長杯争奪ソフトボール大会（2015.9.11）への援助
    - \* 江上会長が出席して挨拶および始球式を行い、

親睦会において、前田常任幹事より優勝チーム（大道ゼミ）に賞状、機械会杯および優勝旗が授与され、準優勝チーム（大島ゼミ）、3位チーム（楊ゼミ）にそれぞれ、賞状および副賞が手渡された。

- (2) 日本機械学会東海学生会・第45回「畠山杯争奪ソフトボール大会」への援助。

\*今年度の学科内優勝チーム（大道ゼミ）が上記大会へ参加して準優勝の成績を収め、他大学との交流、親睦を行った。

- (3) 平成27年度卒業記念パーティー〔2016.3.18（金）、於 ANAクラウンホテル〕への援助。

\*江上登会長および森澤厚副会長が出席して江上会長より卒業生に対し祝辞を述べるとともに、第9回「機械会賞」として、優れた学生6名に賞状および記念品を授与した。

- (4) 準会員（在校生）へ機械会誌「49号」を配布した（上記4-（3）卒業時（2016.3.18））。

5. 機械会役員会・評議員会の開催  
平成27年度において、1回の役員会および6回の評議員会（平成28年3月19日（土）最終）を開催し、種々審議を行った。

## 平成28年度事業計画（案）

本会会則に掲げる本会の目的達成に必要な事業を行うほか、本年度は特に次の事業を中心として活動する。

1. 名城大学機械会誌第50号を発行し、会員各位に送付
2. 機械会評議員会および役員会の開催
3. 名城大学機械会第59回総会開催
4. 平成28年度（第1回）機械会交流会「サマーフェスティバル」の開催〔（平成28年7月16日（土））〕
5. JABEEに伴う外部評価委員会の活動への参画
6. 学校法人名城大学開学90周年募金に対する醸金（補正予算の執行）
7. 機械会ホームページ（HP）の万全な充実化（毎年度のメンテナンス実施）

8. 次の学生行事に対し援助を行う

- (1) 名城大学機械会杯（第47回）& 機械工学科長杯争奪ソフトボール大会
- (2) 日本機械学会東海学生会・第46回畠山杯争奪スポーツ（ソフトボール等）大会
- (3) 平成28年度卒業記念パーティー
- (4) 「講演会」開催等

9. 準会員（在学生）へ機械会誌「50号」を配布
10. 平成28年度 第10回「機械会賞」の贈呈
11. その他

### 平成27年度 名城大学機械会 会計報告(案)

(自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日) [単位:円 消費税込み]

科 目		予 算	決 算	備 考
収入の部	前年度繰越金	173,834	173,834	
	新入会員会費	1,470,000	1,500,000	150名
	理工同窓会援助金	380,000	395,200	下部組織援助金(395,200円)
	雑収入	6,166	2,209	寄付、利息等
合 計		2,030,000	2,071,243	
支出の部	会誌発行費	910,000	963,255	第49号印刷、機械会封筒代、ジャケット、郵送代
	総会費	5,000	0	
	行事費	260,000	210,050	学生行事援助、講演会
	会議費	250,000	501,104	役員会(1回)・評議員会(6回) *交通費含む
	名簿整備費	5,000	0	名簿整備費
	事務費	50,000	8,432	事務用品、はがき、郵送費等
	運営資金積立金	300,000	300,000	60周年記念積立金 30万円
	予備費	300,000	181,000	退職記念関連、他同窓会交流会祝儀、14回新春祝儀
計		2,080,000	2,163,841	
次年度繰越金			▲92,598	
合 計		2,080,000	2,071,243	

■ 機械会HP関連修正予算	1,082,879	1,082,879	ウェブサイト制作リニューアル費、ウェブサイトのメンテナンス保守費用等
---------------	-----------	-----------	------------------------------------

2016/03/30 執行

・運営資金積立金現在高  
21,204,496 円

・名城大学「機械会賞」基金  
2,477,974 円

(平成28年3月31日現在)

会計監査報告  
種々調査の結果、収支ともに相違なきことを証明します。

会計監査 鈴木吉正 御  
中村達郎 御

### 平成28年度 名城大学機械会 予算(案)

(自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日) [単位:円 消費税込み]

科 目		予 算	備 考
収入の部	前年度繰越金	-92,598	
	新入会員会費	1,170,000	117名[28年度卒研着手者(=卒業予定者)]
	理工同窓会援助金	380,000	下部組織援助金
	雑収入	2,598	寄付、利息等
合 計		1,460,000	
支出の部	会誌発行費	980,000	第50号印刷、機械会封筒代、郵送代
	行事費	210,000	学生行事援助、講演会、図書購入援助費等
	会議費	500,000	評議員会、役員会、編集会議、各種委員会等
	事務費	20,000	事務用品、はがき、郵送費等
	運営資金積立金	0	
	予備費	180,000	定年退職記念品関連、他同窓会交流会祝儀
計		2,390,000	名城大学機械会交流「サマーフェスタ」開催関連費

▲930,000【1,460,000-2,390,000】(予算収入の合計と予算支出の合計差額)は積立金より補填

■ 学校法人名城大学開学90周年募金に対する贈金修正予算

名城大学機械会 贈金額	1,000,000	(学校法人名城大学への贈金目録渡し)
-------------	-----------	--------------------

2016/5/17

# 名城大学 機械会

# サマーフェスティバル 2016

# 絆

〈交流会〉

機械工学科のOB、OG、院生が多数参加の立食パーティー！！  
就職の悩み相談のチャンス！！

- ・仕事のやりかたを訊いてみたい
- ・就職活動の体験談を訊きたい など…

同じ母校だからこそ率直な意見がもらえます！

# 演

〈スペシャルゲスト〉

名城大学チアリーディング部  
による演技披露！！

# 楽

〈お楽しみ抽選会〉

豪華賞品が当たる！！

## 名城大学機械会サマーフェスティバル

〈日時〉 7月16日(土)  
受付 17:30~18:00  
交流会 18:00~20:00

〈会費〉 一般会費 8,000円  
院生会費 2,000円

〈場所〉 名古屋ガーデンパレス 栄の間

主催:名城大学機械会

連絡先: meijo\_kikakai@yahoo.co.jp

〈定員〉 140名

機械工学科大学院生の方の参加をお待ち  
しています。お気軽にご連絡下さい。

〈協賛企業〉

株式会社天野研館 千代田工業株式会社 穂本興業株式会社 藤井工業株式会社 富士精工株式会社  
名興発株式会社 株式会社メイドー (五十音順)